

<空の安全・安心を！ 整理解雇4要件を守れ！>

京都のつばさ 街頭宣伝用ニュース 第12号 2012.8.20

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行

京都市中京区千生仙念町30-2 ラボール京都5F 京都総評会 Tel.075-801-2308 (第14回定例宣伝)



稻盛イズム放置は京都の労働者の恥！
JAL不当解雇撤回めざし闘うぞ、京セラ哲学は空の不安だ



「私たちは一昨年大晦日に日本航空に解雇されたパイロットと客室乗務員148名です。不当な解雇は撤回せよ！と裁判で闘っています。ご支援よろしくお願いします。」

We are 148 crew members, pilots and flight attendants of Japan Airlines, who were dismissed on New Year's Eve two years ago. We brought this case to court in order to reverse this unfair dismissal.
(We were dismissed due to age discrimination and sick-leave record in the past.)

Your kind understanding and support would be greatly appreciated. Thank you.

우리들은 지난해 12월 31일, 일본항공사에서 해고당한 파일럿과 객실승무원 148명입니다. 부당한 해고에 대한 철회를 요청하는 재판을 걸고 투쟁하고 있습니다. 여러분께, 많은 지원을 부탁드립니다.

京都の労働者の恥宣言 「儲けなくして安全なし！」で危険な空に

かつて日本最大の公害・ミナマタ闘争で、そこに働くチソの労働者・労働組合は、それまで自分たちの会社が公害を垂れ流していたことに対して、内部から告発して住民・被害者と連帯して闘ってこなかったことを反省して「恥宣言」を発し、公害裁判闘争でも自ら証言台に立ち、勇気を持ってチソと闘いました。

京都の労働者も、憲法・労組法も労基法も顧みず、京セラなどの労働者の飽くなき搾取を行う稻盛イズムを野放しにして、今やその害毒をJALにまで及ぼし、解雇・不当労働行為の見せしめや「JALフィロソフィ」などでの労働強化押し付け、業界全体にまで広がった危険な空の状況など、放置できません。このことを京都の労働者の恥とし、京セラ創業者の「哲学」=稻盛イズム（「儲けなくして安全なし」）の根絶のため、不当解雇撤回をめざす日本航空原告団の完全勝利をめざして闘い抜くことをここに宣言します！

頑張りましょう！ あの空へ帰ろう！

合同纖維組合の皆さんのが手作りの不織布のゼッケンを、無償で東京のJAL不当解雇撤回原告団へ提供されました。「心強い応援に感謝の気持ちいっぱいです」とJAL原告の方々。



ガソリン代節約のため、台風突っ切り事件も！

